



## 巻 頭 言

兵庫県立大学産学連携・研究推進機構  
放射光ナノテクセンター  
センター長 籠島 靖

昨年度（平成 25 年度）より兵庫県ビームライン（BL08B2、BL24XU）と兵庫県放射光ナノテク研究所の管理・運営が、（公財）ひょうご科学技術協会から兵庫県立大学放射光ナノテクセンターに移管されました。早いもので間もなく 2 年が過ぎようとしています。兵庫県が取り組む放射光の産業利用推進の体制を再構築・強化し、産学連携・研究推進機構という全学組織を活かすことで、ユーザの皆様が抱える課題の解決において、広く大学が保有する知を結集しやすくすることが狙いでした。徐々にではありますが、効果は現れてきているのではないかと感じています。

本学は、硬 X 線用の兵庫県 BL と軟 X 線用リングのニュースバルを有しており、硬軟両 X 線のオンサイト測定を提供できるという世界的にも希有な大学です。今年度、機構内に兵庫県 BL・ニュースバル相互利用コーディネーターが配置され、産業界に向けて窓口の一本化が図られました。利用者本位の体制の構築に努めて参ります。

また、今年度は放射光の産業利用推進に加えて、兵庫県からの委託事業として「放射光・スパコン相互利用支援事業」を進めてきました。本事業に参加する企業技術者を対象に、放射光と FOCUS スパコン等を利用した計算科学的手法を活用する材料解析技術の修得を支援することなどを目的としています。第一線でご活躍の方々に講師をお願いして、第一原理計算コードの基本操作実習・アドバンス実習、高分子シミュレーションコードの基本操作実習などを行いました。また固体物理学の基礎の座学の方も設けました。また神戸大学が申請者の JST「我が国の未来を拓く地域の実現に関する調査研究」にも参画し、京・FOCUS ならびに SPring-8・ニュースバルの産業支援体制について情報収集・分析し、スパコンと放射光という科学技術基盤を持つ兵庫県の強みを最大化する活動にも取り組んでいます。今後とも関係機関の皆様の更なるご指導・ご支援を賜りたく、何卒よろしくごお願い申し上げます。

